

小川榮太郎氏著「徹底検証『森友・加計事件』朝日新聞による戦後最大級の報道犯罪」（飛鳥新社）に対する判決の確定について

2021年12月17日

株式会社 朝日新聞社

朝日新聞執行役員広報担当・福島繁のコメント

弊社の主張がほぼ認められたと受け止めています。小川氏が著書の中で、森友・加計学園に関する朝日新聞の一連の報道について「ねつ造」「虚報」などと記載した部分は事実に対し、弊社の名誉を毀損するとの判断が、高裁判決でも維持されました。弊社はこれらの記載が具体的にどう違うか小川氏側に指摘し訂正を求めましたが応じられず、やむを得ず裁判所の判断を仰いだ訴訟でした。「言論の自由」が大切なのは言うまでもなく、弊社は建設的な言論空間を維持・発展させるため引き続き努力して参ります。

（以上）